



RELEASE NOTES

December 2018

Rogue Wave Server®

バージョン 6

イントロダクション

このリリースノートはRogue Wave Server の以下のバージョンにおける主な変更点を記述しています。

- [Server バージョン 6.3 の変更点](#)
- [Server バージョン 6.2.1 の変更点](#)
- [Server バージョン 6.2 の変更点](#)
- [Server バージョン 6.1 の変更点](#)
- [Server バージョン 6.0 の変更点](#)

Server バージョン 6.3 の変更点

- [お知らせ](#)
- [新しい機能](#)
- [新しいサポート環境](#)
- [アップデートされた機能](#)
- [バグフィックス](#)
- [削除された機能](#)

お知らせ

以下のプラットフォームおよびデータベースは、Views 2019 (7.0) で廃止される予定です。本件に関するご質問は、Rogue Wave アカウントマネージャーまたはRogue Wave サポートまでご連絡ください。

Windows

- Windows 7, MSVS 2010, x86/x64
- Windows 8, MSVS 2010, x86/x64
- Windows 8.1, MSVS 2010, x86/x64
- Server 2008, MSVS 2010, x86/x64
- Windows 7, MSVS 2012, x86/x64
- Windows 8, MSVS 2012, x86/x64
- Windows 8.1, MSVS 2012, x86/x64
- Server 2008, MSVS 2012, x86/x64

Linux

- RHEL 5, x86/x64
- SUSE 10, x86/x64

UNIX

- Solaris 10, Sun Studio 11, x86/x64

- Solaris 11, Sun Studio 11, x86/x64
- Solaris 11, Sun Studio 11, x86/x64
- Solaris 10, Sun Studio 11, SPARC
- Solaris 11, Sun Studio 11, SPARC
- Solaris 11, Sun Studio 12, SPARC
- HP-UX 11.23, aCC 6.17, Itanium
- HP-UX 11.i, aCC 3.77, PA Risc
- HP-UX 11.i v3, aCC 3.77, PA Risc
- AIX 6.1, x1C 10.1, PowerPC

新しい機能

.NET コンポーネントライブラリ

Server では、.NET プラットフォーム用のコンポーネントライブラリを提供するようになりました。これにより、.NET プラットフォーム内でクライアントアプリケーションを作成することができます。

アセンブリは lib/dotnet ディレクトリ下にあります。

- `RW.Server.Component.dll` は、表現 (representation) オブジェクトとコンポーネント接続を処理するコンポーネントアセンブリです。
- `RW.Server.Tcp.dll` は、MvTCP 通信プロトコルを実装しています。

サンプルは `demo/network7/dotnetcomponent` にあります。また、`RW.Server.Component.MvOptions` クラスのドキュメントに、利用可能なクライアントオプションとそれらの設定方法が説明されています。

`RW.Server.Component.Mapping` クラスを使用すると、(.ils ファイル内の) ビュー表現オブジェクトの名前を実際の .NET クラスにマッピングする方法を定義することができます。

一度オプションとマッピングが正しく定義されたら、`RW.Server.Tcp.MvProcess.Initialize()` で通信層を初期化し、次に `RW.Server.Component.MvComponent.Connect()` でクライアントをサーバーに接続します

新しいサポート環境

今回のリリースでは新しく追加されたサポート環境はありません。

アップデートされた機能

- [API のアップデート](#)
- [サポート環境のアップデート](#)
- [その他のアップデート](#)

API のアップデート

今回のリリースでは API はアップデートされていません。

サポート環境のアップデート

今回のリリースではサポート環境のアップデートはありません。

その他のアップデート

今回のリリースではその他のアップデートはありません。

バグフィックス

今回のリリースで修正されたバグはありません。

削除された機能

今回のリリースで削除された機能はありません。

Server バージョン 6.2.1 の変更点

Rogue Wave Server 6.2.1 は、ソースコードとバイナリコードの両方でバージョン 6.2 と完全に互換性があります。そのため、アプリケーションを再コンパイルする必要がなく、Rogue Wave Server 6.2.1 に置き換えるだけでこのリリースで改善された点が反映されます。

各変更点については、以下のセクションをご覧ください。

- ・ [お知らせ](#)
 - ・ [新しい機能](#)
 - ・ [新しいサポート環境](#)
 - ・ [アップデートされた機能](#)
 - ・ [バグフィックス](#)
 - ・ [削除された機能](#)
-

新しい機能

今回のリリースで追加された機能はありません。

新しいサポート環境

Microsoft Visual Studio 2017、32 および 64 ビットアーキテクチャがサポートされました。

アップデートされた機能

- ・ [API のアップデート](#)
- ・ [サポート環境のアップデート](#)
- ・ [その他のアップデート](#)

API のアップデート

今回のリリースでアップデートされた API はありません。

サポート環境のアップデート

Rogue Wave Servier 6.2.1 は Visual Studio 2017, 32 および 64 ビットの両方をサポートします。32 ビット用ポートは x86_.net2017_15.0 64 ビット用ポートは x64_.net2017_15.0 と命名されました。

重要: Rogue Wave Server の次のメジャーリリースでは以下のプラットフォームが削除されます。本件に関するご意見やご質問は営業担当またはカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

- Windows 7
- Windows Server 2008
- Visual Studio 2010 and 2012 dropped from Windows platforms
- Red Hat 5
- SUSE 10
- HP-UX/ PA RISC
- Sun Studio 11 will be dropped from Solaris 10

その他のアップデート

今回のリリースでその他のアップデートはありません。

バグフィックス

以下のバグが修正されました。

- SERVER-1499: On Windows 7, copying IIsMvUserType objects may lead to a crash.
- SERVER-1535: Server may crash when receiving corrupted messages.
- SERVER-1556: Restarting a pending timer may crash the application.
- SERVER-1613: Deadlock when using InvokeNow with timers.

削除された機能

削除された機能はありません。

Server バージョン 6.2 の変更点

- [新しい機能](#)
- [新しいサポート環境](#)
- [アップデートされた機能](#)
- [バグフィックス](#)
- [削除された機能](#)

新しい機能

今回のリリースで追加された機能はありません。

新しいサポート環境

Rogue Wave Server 6.2 は Windows Server 2012 で正式にサポートされます。

アップデートされた機能

- [API のアップデート](#)
- [サポート環境のアップデート](#)
- [その他のアップデート](#)

API のアップデート

今回のリリースでアップデートされた API はありません。

サポート環境のアップデート

今回のリリースでアップデートされたサポート環境はありません。

その他のアップデート

今回のリリースで行われたその他のアップデートはありません。

バグフィックス

以下のバグが修正されました。

- SERVER-1206: Server アプリケーションを侵入に対してより堅牢にします。
 - SERVER-1335: ユーザ型に未定義の振る舞いを引き起こす `IlsMvValue` を削除しました。
-

削除された機能

削除された機能はありません。

Server バージョン 6.1 の変更点

- [新しい機能](#)
 - [アップデートされた機能](#)
 - [削除された機能](#)
-

新しい機能

ILS XML Schema

ILS の言語 DTD は製品から除かれ、等価で完全な XML スキーマに置き換えられました。ILSHOME/data/ils.xsd をご覧ください。

XML の名前空間 URI は <http://www.roguewave.com/schemas/server/1.0> へとアップデートされました。なお、後方互換であるため、ILS コンテンツを含んだレガシーな XML を使い続けることもできます。

アップデートされた機能

- [API のアップデート](#)
- [サポート環境のアップデート](#)
- [その他のアップデート](#)

API のアップデート

Rogue Wave Server V6.1 でアップデートされた API はありません。

サポート環境のアップデート

このセクションでは Rogue Wave Server V6.1 で追加や廃止された環境について記述します。

新しいサポート環境

追加されたサポート環境はありません。

対象外となるサポート環境

対象外となるサポート環境はありません。

その他のアップデート

Rogue Wave Server V6.1 では、この他に以下のアップデートが行われました。

プロトコルバージョンのアップデート

64-bit をサポートするために Server のプロトコルがバージョン 6100 へとアップデートされました。別のプロトコルバージョンを C++ サーバや C++/Java クライアントで使うには

- C++ サーバ / クライアント
 - 環境変数 ILS_PROTOCOL_VERSION を設定
 - コマンドラインオプションで `-ilsprotocol_version <version>`
- Java クライアント
 - JVM オプションで `ilog.server.protocol.version`
 - コマンドラインオプションで `-ilsprotocol_version <version>`
 - アプレットパラメータを指定 : `ilog.server.protocol.version`

JViews マッピング

このバージョンの Server は JViews 8.10 と共にコンパイルされ、テストされました。

削除された機能

削除された機能はありません。

Server バージョン 6.0 の変更点

- [新しい機能](#)
- [アップデートされた機能](#)
- [削除された機能](#)

新しい機能

今回のリリースで追加された機能はありません。

アップデートされた機能

今回のリリースで Server に追加されたサポート環境

- Microsoft Visual Studio 2015: x64_.net2015_14.0 および x86_.net2015_14.0

対象外となったサポート環境

サポート対象外になった環境はありません。

削除された機能

Solaris 10、SPARC、Intel アーキテクチャ上の Sun Studio 11 を使った環境はサポート対象外になりました。今後のリリースではコンパイラ Sun Studio 12.3 を使った Solaris 11 のみがサポートされます。

Microsoft Visual Studio 2010 (x86_.net2010_10.0 and x64_.net2010_10.0) はサポート対象外になりました。

The Rogue Wave name and logo are trademarks or registered trademarks of Rogue Wave Software, Inc. in the United States and other countries. IBM, the IBM logo, ibm.com, and ILOG are trademarks or registered trademarks of International Business Machines Corp., registered in many jurisdictions worldwide.

ACKNOWLEDGMENTS

This documentation, and the information contained herein (the "Documentation"), contains proprietary information of Rogue Wave Software, Inc. Any reproduction, disclosure, modification, creation of derivative works from, license, sale, or other transfer of the Documentation without the express written consent of Rogue Wave Software, Inc., is strictly prohibited. The Documentation may contain technical inaccuracies or typographical errors. Use of the Documentation and implementation of any of its processes or techniques are the sole responsibility of the client, and Rogue Wave Software, Inc., assumes no responsibility and will not be liable for any errors, omissions, damage, or loss that might result from any use or misuse of the Documentation

ROGUE WAVE SOFTWARE, INC., MAKES NO REPRESENTATION ABOUT THE SUITABILITY OF THE DOCUMENTATION. THE DOCUMENTATION IS PROVIDED "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND. ROGUE WAVE SOFTWARE, INC., HEREBY DISCLAIMS ALL WARRANTIES AND CONDITIONS WITH REGARD TO THE DOCUMENTATION, WHETHER EXPRESS, IMPLIED, STATUTORY, OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL ROGUE WAVE SOFTWARE, INC., BE LIABLE, WHETHER IN CONTRACT, TORT, OR OTHERWISE, FOR ANY SPECIAL, CONSEQUENTIAL, INDIRECT, PUNITIVE, OR EXEMPLARY DAMAGES IN CONNECTION WITH THE USE OF THE DOCUMENTATION.

The Documentation is subject to change at any time without notice.